

製品・サービス動向-国内

■ギンガシステム：「遠隔合同授業セット」
の提供を開始、セットにはロジクール、
ヤマハ、Optoma 各社の映像音響機器を採
用

(11月27日)

ギンガシステム株式会社 (<http://ginga-sys.jp/>) (東京都中央区) は、同社の簡単テレビ会議システムの最新モデル「LoopGate1000」を始めとした機器で構成される、学校向け「遠隔合同授業セット」の提供を開始する。

同社によると、文部科学省が離島や山間部などにある小規模な公立小中学校にテレビ会議を使う機材を置き、離れた学校と一緒に授業ができるようにする計画を固めたことが提供開始の背景にある。来年度から4年間で児童生徒数が5人以下のクラスがある全国約1,900校全てへの配備が進められるという。

LoopGate 1000 は、簡単操作で、安心の24時間サポート (ただし土日祝は7:30~19:00)、ネットワークへの設定が不要で簡単設置といったところが特徴という。またWi-Fi接続 (802.11 a/b/g/n/ac) にも対応しており、場所に縛られることなくフレキシブルに使える。

この遠隔合同授業セットには、カメラとして株式会社ロジクール (<https://www.logicool.co.jp/ja-jp>) (東京都港区) の「BRIO C1000eR」、マイクスピーカーとしてヤマハ株式会社 (<https://jp.yamaha.com/>) (静岡県浜松市) の「YVC-1000」、プロジェクタとしてOptima社 (輸入販売元は株式会社オーエス、<https://jp.os-worldwide.com/> 大阪市西成区) の「EH320UST」を採用した。

ギンガシステムのテレビ会議システムは、導入実績は2,200社以上、累計8万台以上の実績がある。専用機タイプの会議システムはパソコンやスマートフォンと比較して抜群の安定性を持つ。IT製品の比較サイト「ITトレンド」 (<https://it-trend.jp/>) でテレビ会議総合ランキング2年連続1位を獲得している。

■ポリコムジャパン： 中規模な会議室に適
した音声会議システム「Polycom Trio 8500」
の日本市場向け販売開始

(11月16日)

ポリコムジャパン株式会社 (<http://www.polycom.co.jp/>) (東京都新宿区) は、中規模な会議室に適した音声会議システム「Polycom Trio 8500」の日本市場向け販売開始を発表。



Polycom Trio 8500 (ポリコムジャパン)



使用イメージ (ポリコムジャパン)

Polycom Trio 8500 は、「HD Voice 技術」に加え、全二重音声機能・エコーキャンセラー機能・ノイズ低減機能・音声処理機能などを組み合わせた「Polycom Acoustic Clarity 技術」、会話以外のノイズを自動的に検出しマイクをミュートするので会議が中断されることがない「Polycom NoiseBlock 技術」などにより、業界トップレベルのクリア豊かな音声エクスペリエンスを実現する。

また、現代的かつ洗練された5インチのカラータッチスクリーンは直感的に操作できるインターフェイスを提供しており、統合されたカレンダーのワンタッチ接続などによって、スムーズに会議を開始できるとともにユーザの利用を促進するとしている。加えて、点灯式のミュートボタンが各脚部に搭載されているため、会議室にいる参加者が会議を管理できるようになっている。

さらに、Polycom Trio 8500 は、マイクロソフト社 Skype for Business/Office 365 の認定を取得している。Skype for Business との連携により、一貫したエクスペリエンスを実現するとともに、ユーザの多様なニーズにもこたえられるという。

Polycom Trio 8500 は、ポリコムの認定販売代理店を通じて、11月16日より提供開始する。価格は全てオープンとなっている。

■ジェナ：AI チャットボット「hitTO」が「Skype for Business」と「Microsoft Teams」に連携対応

(11月20日)

株式会社ジェナ (<http://www.jena.ne.jp/>) (東京都千代田区) は、AI と連携したチャットボットサービス「hitTO(ヒット)」の最新バージョンがマイクロソフトの「Skype for Business」と「Microsoft Teams」に連携対応したことを発表した。

hitTO はユーザが自然言語で質問できる、AI と連携

した法人向けチャットボットサービス。

管理画面やユーザ画面の使いやすさやデザイン性、コミュニケーションツールとの連携などが特長で、AIのビジネス活用を目的とした多くの法人企業で採用されているという。中でも情報システム部が担当するITヘルプデスク、総務人事部が担当する社内の問い合わせ対応などで多く活用されており、法人における業務効率化を実現している。



hitTO と Skype for Business の連携イメージ (ジェナ)



hitTO と Microsoft Teams の連携イメージ (ジェナ)

ジェナは、Mobile・AI・IoT を活用したアプリケーション開発やアプリケーション開発におけるUI/UXデザイン・コンサルティングを提供している。また、スマートデバイス活用プラットフォーム「seap」、Beacon管理IoTプラットフォーム「Beacapp」、AIチャットボットサービス「hitTO」などのソリューションの開発・提供も行っている。2006年3月設立。

ビジネス動向-国内

■リコー・ジャパンと日本マイクロソフト、共同でリコーMicrosoft 365 支援センター設立など、中堅中小企業の働き方改革を支援

(11月13日)

リコー・ジャパン株式会社 (<https://www.ricoh.co.jp/sales/about/>) (東京都港区) と日本マイクロソフト株式会社 (<https://www.microsoft.com/ja-jp>) (東京都港区) は、中堅中小企業の働き方改革を支援する取り組みを共同で展開する。

日本マイクロソフトが11月1日に提供開始した「Microsoft 365 Business」を中核にしたクラウドサービス基盤について導入・構築から活用促進・管理・運用支援までを両社が共同で展開する。

リコー・ジャパンは、リコーグループの国内販売会社として全国各県に支社を設置し、リコー製の複合機やプリンターの提供、ICT関連機器、アプリケーションソフトの提供、ネットワークインフラの構築・運用支援など、中堅中小企業の顧客を中心に、ICT環境全般をワンストップでサポートしている。

具体的取り組み内容は以下の通り。

(1) 今回、日本マイクロソフトの技術支援のもと、リコー・ジャパンは12月1日に、「リコーMicrosoft 365 支援センター」を設立。Microsoft 365 導入時のさまざまな設定作業や運用管理業務の代行、クラウド環境の監視・報告、問い合わせ対応を「Skype for Business」などを活用して遠隔で行う。また、このセンターサービスと全国422カ所の保守サービス網によるオンサイトを組み合わせ安心のサポートを提供するとしている。あわせて、全国の拠点に Microsoft 365 キーマンを1,000名体制で配置し、社内実践のノウハウやソリューションを顧客に提供する。また、両社はジョイントチームを結成し、サービス開発やソリューション

開発に共同で取り組むとともに利活用促進に関するサービス提供を行う。

(2) 中堅中小企業向けに、Microsoft 365 の導入・構築から運用保守までワンストップで提供する。また、Skype for Business と「RICOH Interactive Whiteboard」の連携に続く、ワークフローソリューションや SharePoint テンプレート集、Chat Bot などの連携ソリューションの提供を強化する。

(3) 日本マイクロソフトの協力のもと、働き方改革セミナーやイベントを、2018年6月までに全国で250回、5,000社を対象に開催する。両社が社内実践で培った Office 365 を活用したオンライン会議やモバイルワークなどのノウハウを紹介する。

(4) 中大手の顧客への導入を支援するインテグレーションセンターを全国7カ所(東京・大阪・名古屋・仙台・埼玉・広島・福岡)に開設する。中堅中小企業に加え中大手の顧客の導入支援をすることで会社の規模や環境に合わせた最適なサポートを提供する。

(5) Windows7/Office2010のサポート終了(2020年)に向けた移行支援を連携して行う。Windows7やOffice2010から、最新環境であるMicrosoft 365に移行する提案を進める。加えて、Microsoft 365に最適なデバイスである「Surface」をリコー・ジャパンのマネージドサービスと組み合わせて顧客にワンストップで提供する。

こうした取り組みにより、リコー・ジャパンは、国内市場におけるマイクロソフト製品関連のビジネスを拡大し、2020年度には現在の倍以上となる365億円の売上を目指す。

■ブイキューブ：テレキューブがパーソルグループの運営する東京テレワーク推進センターへ導入

(11月22日)



東京テレワーク推進センターのテレキューブ

(ブイキューブ)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、11月に、パーソルグループが運営している「東京テレワーク推進センター」へ「テレキューブ」が導入されたと発表。

東京テレワーク推進センターは、パーソルプロセス & テクノロジー株式会社 (<https://www.persol-pt.co.jp/>) (東京都江東区) のコーポレートベンチャーであるワークスイッチコンサルティング (<http://www.persol-pt.co.jp/ws/>) が運営している。パーソルプロセス&テクノロジーは、「平成29年度テレワーク等普及推進事業」の運営に参画しており、当センターは当該事業の一環として7月24日に開設された。

とくにテレワークを検討している中小企業や企業担当者へ向けて、将来的なテレワークの普及を支えるテレワーク先端機器の企画展示コーナーがあるほか、体験コーナーを設け、セミナーを実施し、働き方改革の推進へ貢献する。

今後テレワーカーが増えることで、働く場所の選択肢が多様化していくことを見据えて、今回、テレキューブの展示を決定した。テレキューブは「いつでも」「どこでも」働ける環境を実現することを目的とした製品

で、利用者は防音性の高い空間スペースで落ち着いて仕事ができるだけでなく、テレビ会議や電話も行えるようになっているのが特長。

ブイキューブでは10月に「テレワークで日本を変える」ことを企業ブランドに掲げ、できるだけ多くの方にテレキューブを体験してもらうことで、いつでもどこでも働ける環境の実現につながると考えている。今年度いっぱい、東京テレワーク推進センターにて展示され、利用者は自由に体験することができる。

■ギンガシステム：8万台以上の販売実績がある同社簡単テレビ会議システムが杉並区ICTを活用した高齢者の在宅生活支援モデル事業に採用

(11月27日)

ギンガシステム株式会社 (<http://ginga-sys.jp/>) (東京都中央区) は、同社の簡単テレビ会議システムが、杉並区ICTを活用した高齢者の在宅支援モデル事業で利用されるテレビ会議システムに採用されたと発表。

この事業は、高齢者が住み慣れたまちで自分らしい暮らしを最後まで続けていくためのモデル事業として、高齢者と施設などの双方向でのコミュニケーションが可能なICT技術・機器を利用した見守りを行い、その効果を検証するもの。

将来的にはこれを家族と家族をつなぐ見守りの手段として充実・拡大させることを目指し、在宅生活の限界点を上げることで特別養護老人ホームなどの施設整備の抑制に結びつけられるような取り組みとすることを目的としている。

ギンガシステムは、1997年にテレビ会議システムの専門メーカーとして事業をスタート。これまでに、企業規模、業種・業態、地域、民間/公共の有無を問わず、2,200社以上の小規模・中堅・大企業、官公庁・団体、大学等、さまざまな企業や組織および個人に8万台以上を導入した実績がある。このほか、販売管理

等の業務管理ソフトウェアの開発・販売、ホームページ制作などの事業展開も行っており、顧客の IT 現場の最適化に貢献している。

導入・利用動向-国内

■Kids Public：バイドゥ、popIn が遠隔医療相談サービス「小児科オンライン」を福利厚生として導入

(PR TIMES：11月20日)

スマートフォンで小児科医に相談ができる遠隔医療相談サービス「小児科オンライン」を運営する株式会社 Kids Public (<https://kids-public.co.jp/>) (東京都千代田区)は、バイドゥ株式会社 (<https://www.baidu.jp/>) (東京都港区) およびバイドゥのグループ会社 popIn 株式会社 (<http://www.popin.cc>) (東京都港区) の子育て支援策として、小児科オンラインの提供を開始した。

この度、バイドゥおよび popIn が、小児科オンラインを福利厚生として導入することとなった。両企業の従業員は、小児科オンラインを無料で利用することができる。

仕事の後にも利用しやすい、多くのクリニックが閉まる 18時から 22時に、家にいながら LINE や Skype、電話で小児科医に受信判断や日ごろの子育ての不安を相談できるため、仕事と子育ての両立を行いやすくなるという。

導入に至ったのは、popIn の程社長の子供の発熱で小児科オンラインを利用したことがきっかけという。相談しようと思った 30 分後には Skype 越しに小児科の先生に子供の様子をみてもらうことができた。会社の制度として導入し、社員が使うことで子育ての大変さを少しでも軽減できると思ったそうだ。

PR

(広告掲載順)

■ヤマハ株式会社

USB スピーカーフォン FLX UC 500

https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/flx_uc_500/index

■株式会社ブライトコンパス

まだまだ使える綺麗な中古のテレビ会議システムが格安で手に入ります。

中古テレビ会議.com

<http://chuko-tv-kaigi.com/?=cnar11302>

■株式会社ロジクール

MeetUp(ミートアップ)ー

ハドルルーム (4~6 名程度) に最適な、120 度の広い視野角と 4K 光学にも対応するオールインワンタイプのカンファレンスカム

<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/product/meetup-conferencecam>

■株式会社シード・プランニング

<<発刊>> 2017 ビデオ会議/Web 会議の最新市場とビデオコミュニケーション周辺ビジネス動向

<http://store.seedplanning.co.jp/item/9537.html>

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報 (12月~2月)

失敗しない「Web 会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー、働き方改革セミナー 失敗しない「Web 会議」「テレビ会議」選び方徹底解説、「従来比 1/3 のコストで導入できる」V-CUBE Box 体験セミナーなど。

会場 (東京・大阪)

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■「ポリコムソリューションセミナーin 大阪」開催情報
〈内覧会〉

日時：12月5日（火） 13：00～17：30

会場：ナレッジキャピタルカンファレンスルーム
（大阪市北区）

主催：株式会社プリンストン

詳細・申込：

<http://www.princeton.co.jp/news/2017/11/201711241100.html>

※ポリコムジャパンによるセミナー（2回）もあり。

■ワークスタイル変革 実践事例セミナー
～コミュニケーション・コラボレーション変革からはじめる
ワークスタイル変革～

日時：12月20日（水） 10:00～17:00

会場：リコージャパン ViCreA 東京 ショールーム
（東京都中央区）

主催：リコージャパン株式会社

詳細・申込：

<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/17S063.html>

■ワークスタイル変革 実践事例セミナー
～コミュニケーション・コラボレーション変革からはじめる
ワークスタイル変革～

日時：1月24日（水） 10:00～17:00

会場：リコージャパン ViCreA 東京 ショールーム
（東京都中央区）

主催：リコージャパン株式会社

詳細・申込：

<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/17S105.html>

■Surface Hub 実践活用術～社員同士のコラボレーション
を促進して働き方の「質」を向上!～

日時：12月21日（木） 16:00～18:00（受付 15:45）

会場：日本マイクロソフト株式会社 品川本社

主催：日本マイクロソフト株式会社

詳細・申込：

https://www.microsoftevents.com/profile/form/index.cfm?PKformID=0x2679723abcd&wt.mc_id=AID624082_EML_5261978

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2017年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2017年11月30日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp